

平成27年3月10日(火)

一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会経営対策委員会

土曜日の教育活動の推進 について

文部科学省 生涯学習政策局 社会教育課
地域・学校支援推進室長 鍋島 豊



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

「土曜学習応援団」の企業・団体・大学等をお願いしたいこと

H27.3

依頼事項

学校等が行う土曜授業等に**出前授業の講師として参加**をお願いします
(可能であれば、関連企業・団体等へ**土曜学習応援団の紹介**をお願いします)

参加の仕方

**出前授業の講師
として参加**

など

分野

キャリア教育

自然体験
食育教室
実験・工作
ビジネススキル
グローバル人材育成
文化芸術・スポーツ
学力向上

など

形態

出前授業

農業体験
施設見学
屋外での
体験活動
など

連携先

学校

市区町村
都道府県
教育委員会
など

さまざまな連携のかたちがあります

※具体のプログラムの実施方法・内容は、連携先と相談のうえ、決めることとなります。

(幼稚園・保育園～高校までの子供への支援、親子での参加も)

Q & A

Q.土曜学習応援団になるメリットは?

A.出前授業等にご協力いただくことで、子供たちは豊かな経験を積むことができ、**社会に役立つ人材育成に貢献するなかで、地域との連携ができ、**取組に対する理解が得られるなど、**企業イメージが向上**します。

応援団になっていただくと、**文部科学省が、取組をホームページや自治体への説明会などで広く周知**します。

Q.出前授業等の具体的な実施にはどうしたら良い?

A.当面は**企業・団体・大学等の連絡窓口と協力内容を登録**いただき、学校等からの依頼を**文部科学省からご連絡**します。やりとりを重ねる中で、学校等から直接ご連絡することもあります。

参考

- ・土曜学習の**実施主体は、その学校を設置する自治体**などです。
- ・自治体では、**教育委員会の社会教育課等**の部署が担当しています。
- ・土曜学習以外に、**夏休み中の平日や、平日、土曜日の授業、放課後の活動への出前授業も実施可能**です。

Q.土曜学習応援団になると何か負担がありますか?

A.土曜授業等への出前授業の講師として参加や土曜学習応援団の紹介をお願いしていますが、土曜学習応援団の賛同に際し、**協賛金等の負担をお願いすることはありません**し、実施の条件が合わない場合は、実施を見送りいただいてもかまいません。**できる範囲でご協力をお願いします。**

Q.取組に対する助成措置はありますか?

A.助成措置は**自治体の判断**となります。謝金や旅費等ができることもありますし、無償でお願いすることもあります。
なお、文部科学省では、自治体が出前授業の講師等に支払う講師謝金等に対して**自治体向けの補助事業**を新設しました。
(文部科学省の支援は2,200円/時間まで)

「土曜学習応援団」になりませんか？

～土曜日は学校へ！子供の学びを皆で支えよう！～

H27.3

○ **学校週5日制**を平成14年度から完全実施してから12年が経過し、土曜日を必ずしも有意義に過ごせていない子供たちも少なからず存在。平成26年度は**約40%の学校や学校区で、土曜日に何らかの教育活動**を実施中。

○ 土曜日は平日に比べて、①まとまった時間が確保しやすいことや、②社会人が参加しやすいことなどの長所があり、**土曜日ならではの充実した取組が可能**。

学校	土曜日に何らかの教育活動を実施中	全国の公立学校数
小学校	約8,000校	約21,000校
中学校	約3,000校	約10,000校
高等学校	約2,000校	約4,000校
合計	約13,000校	約35,000校

しかし…

約40%の学校で実施予定 (H26)

- 学校・保護者等から**企業・団体・大学等の参画によって、多様なプログラムを子供たちに提供したい**という要望が増えている。
- 現在、多くの学校区の土曜日の活動は、学校の教員による授業や、日頃つきあいのある地域の方等の参画にとどまっている。

そこで！

- **是非とも、企業・団体・大学等の皆様に、土曜学習応援団になってください。**
- **企業・団体・大学等の強みや実社会の経験を活かして、出前授業等の講師をお願いいたします。**

☀土曜学習応援団の活動が各地で始まっています！☀

土曜日に出席授業等の講師として参加している事例

賛同企業・団体・大学等数 現在約280
→ **さらなる企業・団体・大学等の参画が必要です！**



金融系A社による
グローバル人材を目指す講演



電機メーカーB社による
ハイブリッドカー親子工作教室



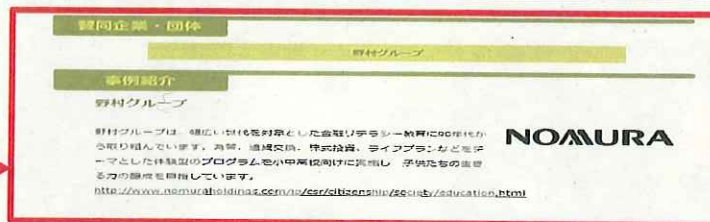
掃除用具メーカーC社による
お掃除体験教室



プロ棋士によるやさしい囲碁教室

詳細は、土曜学習応援団ホームページをご覧ください。

URL: <http://doyo.mext.go.jp>



【文部科学省の土曜学習応援団特設HP】

＜平成27年3月6日現在の賛同企業・団体・大学等（敬称略）＞

○贊同數：278

花王、ダスキン、パナソニック、三菱電機、日本電気、パナソニック、加計計算機、キヨマン、ゼンショー、東洋ライ、伊藤園、大和屋、林外、ミナホーム、第一電機測器、三菱商事、アフラック、野村ホールディングス、SMBC日興証券、損保ジャパン日本興亜ホールディングス、水戸証券、総合警備保障、MS&ADリアルエステート、SMBCコンシューマーファイナンス、第一成和事務所、第一生命、日産自動車、トヨタ自動車、カリフカパレイ、東京ガス、三井化学、トヤマ、KDDI、NTTドコモ、楽天、読売新聞社、朝日新聞社、産業経済新聞社、中日新聞社、ワナエンタテインメントジャパン、凸版印刷、Lifebook、コエ学館、東京書籍、アハム、林トキエン、ケニス、教育と探求社、ILH、ファカルス、クバーコーチングジャパン、情報技術開発、テックファーム、CA Tech Kids、ロケット科学教育、マルコムコミュニケーションズ、キリアック、日比谷アセス、フォーバル、リアルコミュニケーションズ、日本ウォーク社、ウォーク学園、トーホ、パツワーク通信社、ルリアン、ブティック社、LIXILビバ、びあ、チームマイル、ジャパン・アーツ、ドリム・ムラクル企画、東京演劇集団 風、トリップ・キッズ、ショップ&ガーデン・花、全国学習塾協会、神田進学セミナー、津ノ國屋、堀江ゼミナール、花乃井ゼミナール、育英システム、大阪栄光学園、理数学会、日本経済団体連合会、日本商工会議所、新経済連盟、日本貿易会、全国信用金庫協会、岐阜信用金庫など37信用金庫、日本証券業協会、全国銀行協会、日本損害保険協会、日本化学工業協会、大日本水産会、日本財団、日本化粧品協会。

日本青年会議所、豊田青年会議所、日本PTA全国協議会、全国高等学校PTA連合会、全国国立大学附属学校PTA連合会、日本PCA教育振興会、NPOおやじ日本、礪川おやじの会、全国特別支援教育推進連盟、ホーイカ外日本連盟、全国子ども会連合会、修養団、育てる会、ホームセンター、遊心、日本レクリエーション協会、社会通信教育協会、日本通信教育振興協会、全国社会教育委員連合、日野社会教育センター、ディレクトフォー ス理科実験グループ、全国消費生活相談員協会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、製品評価技術基盤機構、金融学習協会、ファインシルカデミ、エプソーマン、日本博物館協会、日本芸術文化振興会、国立科学博物館、東京国立博物館、京都国立博物館、奈良国立博物館、九州国立博物館、東京文化財研究所、奈良文化財研究所、アジア太平洋無形文化遺産研究センター、国立青少年教育振興機構、国立利根川記念青少年総合センター、国立大雪青少年交流の家など27施設、体験の風をおこそう運動推進委員会、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会、NPO自然体験活動推進協議会、日本青年館、鹿児島県青年会館、沖縄県青年会館、日本青年団協議会、鹿児島県青少年団協議会、青少年交友協会、日本YMCA同盟、日本ユーススル協会、B&G財団、日本オーストラリアフットボール協会、日本フットサル連盟、日本ダンス協会、日本数学検定協会、NPO日本ユース時事能力検定協会、NPO日本語検定委員会、日本英語検定協会、全国図書教材協議会、職業教育・キャリア教育財団、日本能率協会、公益資本主義推進協議会、志教育プロジェクト、ジュニアナイズ協会、日本舞踊協会、落語芸術協会、ジュニア音楽文化振興会、全日本ピアノ指導者協会、武士道剣会、日本鯨類研究所、日本捕鯨協会、日本手芸普及協会、未来キャリアス、ライフデザイン教育研究会、マナーキッズプロジェクト、NPO教育支援協会、NPO放課後NPOアフタースクール、NPO芸術資源開発機構、NPO情熱の赤いバラ協会、NPO日本マナープロジェクト協会、NPOアイデアリヒズム、NPO青少年科学技術振興会、NPO日本こどものための委員会、NPOアソシエイト、NPOグリーンバード、NPO伊豆自然学校、NPO全国ラジオ体操連盟、NPOグレイプリーク運営委員会、NPO日本の平和と安全基盤を守る会、NPO対話の会、アール、日本学生社会人ネットワーク、EDUPEDIA、e-ネットキャリア、夢★らくぞプロジェクト、危険学プロジェクトグループ8、電気理科学科、

国立大学協会、国立高等専門学校機構、全国専修学校各種学校総連合会、
東京学芸大学、兵庫教育大学、宮城教育大学 環境教育実践研究センター、産業技術大学院大学、高知工科大学、石川県立大学 生物資源環境学部食品科学科分子生物学研究室、
石川県立大学 生物資源工学研究所DNA利用技術教育センター、北里大学 一般教育部自然科学教育センター化学単位、
東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター基盤研究施設（分子細胞生物学）、香川栄養学園 女子栄養大学生涯学習センター、東京都立産業技術高等専門学校、文化服装学院、
二葉ファッションアカデミー、高1科1-1加速器研究機構、自然科学研究機構 核融合科学研究所、計測自動制御学会、

自衛隊 東京地方協力本部 港出張所、同本部 大田出張所

3

「土曜学習応援団」について ～御賛同のお願い～

文部科学省では、社会総がかりでの教育の実現に向けて、現役の企業・団体・大学関係者など幅広い方々の参画を積極的に促進し、土曜日の教育活動を推進しています。

■概要

社会総掛かりでの土曜日の教育活動を全ての学校で実現することを目指し、多様な賛同企業等からなる「土曜学習応援団」を立ち上げ、出前授業等の実施や官民協働により広報啓発を展開します。

■ご依頼内容

- ◎地域の小・中学校・高等学校等において、日頃の業務経験や専門知識等を活かした出前授業の実施、教育ボランティアへの参画に向けた環境づくりや啓発をお願いします。
- ◎ホームページや各種会合・研修の機会等を通じて、全国の支店やグループ会社等に対し、本取組の御周知と御賛同の呼びかけをお願いします。

御賛同いただきましたら、文部科学省のホームページ等に御賛同企業等として掲載し、全国の自治体や学校等に対して、広く周知させていただきます。大変ご多忙の日々とは拝察いたしますが、日本の将来を担う子供たちのために、私どもに若干の時間を割いていただければ幸甚に存じます。何卒御高配いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

【本件担当】

文部科学審議官 前川 喜平
大臣官房審議官（生涯学習政策局担当） 徳田 正一
文部科学省生涯学習政策局 社会教育課長 谷合 俊一
直通：03-6734-2977

【本件お問い合わせ先】

文部科学省 生涯学習政策局
社会教育課 地域・学校支援推進室
室長：鍋島、室長補佐：佐藤、係長：入江
直通：03-6734-3080 FAX：03-6734-3718
Email：doyo@mext.go.jp

「土曜日教育ボランティア」運動に賛同します

御賛同
団体名

（例）株式会社文部科学、一般社団法人〇〇〇〇 など

【連絡担当者】*今後、本件について御連絡させていただく方を教えてください。

氏名			
会社・団体名			
役職			
電話		FAX	
E-mail			

土曜日の教育活動の形態

子供たちの健やかな成長のためには、土曜日の教育環境を豊かなものにする必要がありますが、土曜日の教育活動については、その実施主体や扱う内容等により、幾つかの形態に整理できます。

(①) 「土曜授業」について ← 子供たちは**全員参加**

そうした形態のうちの 하나가、児童生徒の代休日を設けずに、土曜日を活用して教育課程内の学校教育活動を行う「土曜授業」です(下図①)。文部科学省では、設置者の判断により、「土曜授業」を行うことが可能であることを明確化するため、昨年11月29日に学校教育法施行規則の改正を行いました。

(②) 「土曜の課外授業」について

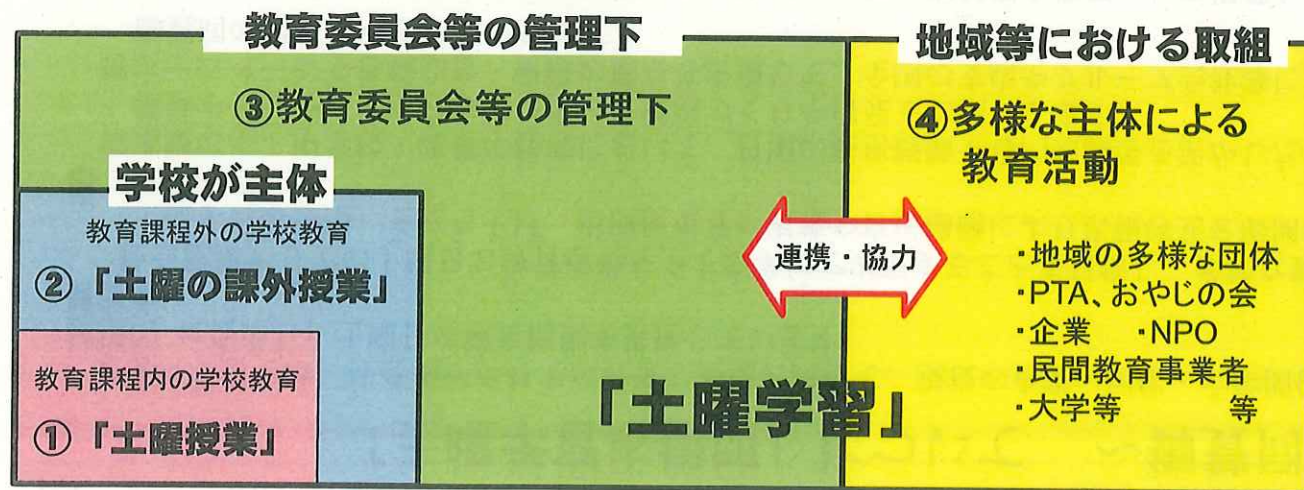
このほか、学校が主体となった教育活動ではあるものの、希望者を対象として学習等の機会の提供を行うなど、教育課程外の学校教育を行う「土曜の課外授業」とも呼ぶべき形態があります(下図②)。

(③+④) 「土曜学習」について ← 子供たちは**希望者が参加**

また、教育委員会など学校以外の者が主体となって、希望者に対して学習等の機会の提供を行う「土曜学習」とも呼ぶべき形態があります。この「土曜学習」については、主体が公的なもの(下図③)と、主体が公的でないもの(下図④)があります。

例えば、大分県豊後高田市教育委員会が実施している「学びの21世紀塾」の取組は、下図③に該当します。

<土曜日の教育活動について>



文部科学省としては、「土曜授業」や、「土曜の課外授業」、「土曜学習」の機会の充実等により、総合的な観点から子供たちの土曜日の教育環境の充実に取り組むことが重要であり、その振興に取り組んでいきたいと考えています。

全国の土曜日の教育活動の実施状況(平成26年度)

※平成26年度の実施予定の学校数 (H26. 3 調査)

① 「土曜授業」 *全員参加

学 校	平成26年度予定 (実施割合)
小 学 校	3, 565校 (17%)
中 学 校	1, 794校 (18%)
高等学校	214校 (6%)
計	5, 573校 (16%)

(参 考 : 「土曜授業」の平成24年度実績)

学 校	平成24年度実績 (実施割合)	増 加
小 学 校	1, 801校 (9%)	1, 764校
中 学 校	966校 (10%)	828校
高等学校	142校 (4%)	72校
計	2, 909校 (9%)	2, 664校

② 「土曜の課外授業」

学 校	平成26年度予定 (実施割合)
小 学 校	806校 (4%)
中 学 校	639校 (7%)
高等学校	1, 468校 (40%)
計	2, 913校 (9%)

③ 「土曜学習」 *希望者が参加

	平成26年度予定 (実施割合)
小 学 校	4, 972校 (24%)
中 学 校	838校 (9%)
高等学校	775校 (21%)
計	6, 585校 (19%)

◆ 「土曜授業」, 「土曜の課外授業」, 「土曜学習」を**いずれか一つでも実施**
⇒ **約13,000校 (約40%) の学校や地域で実施**

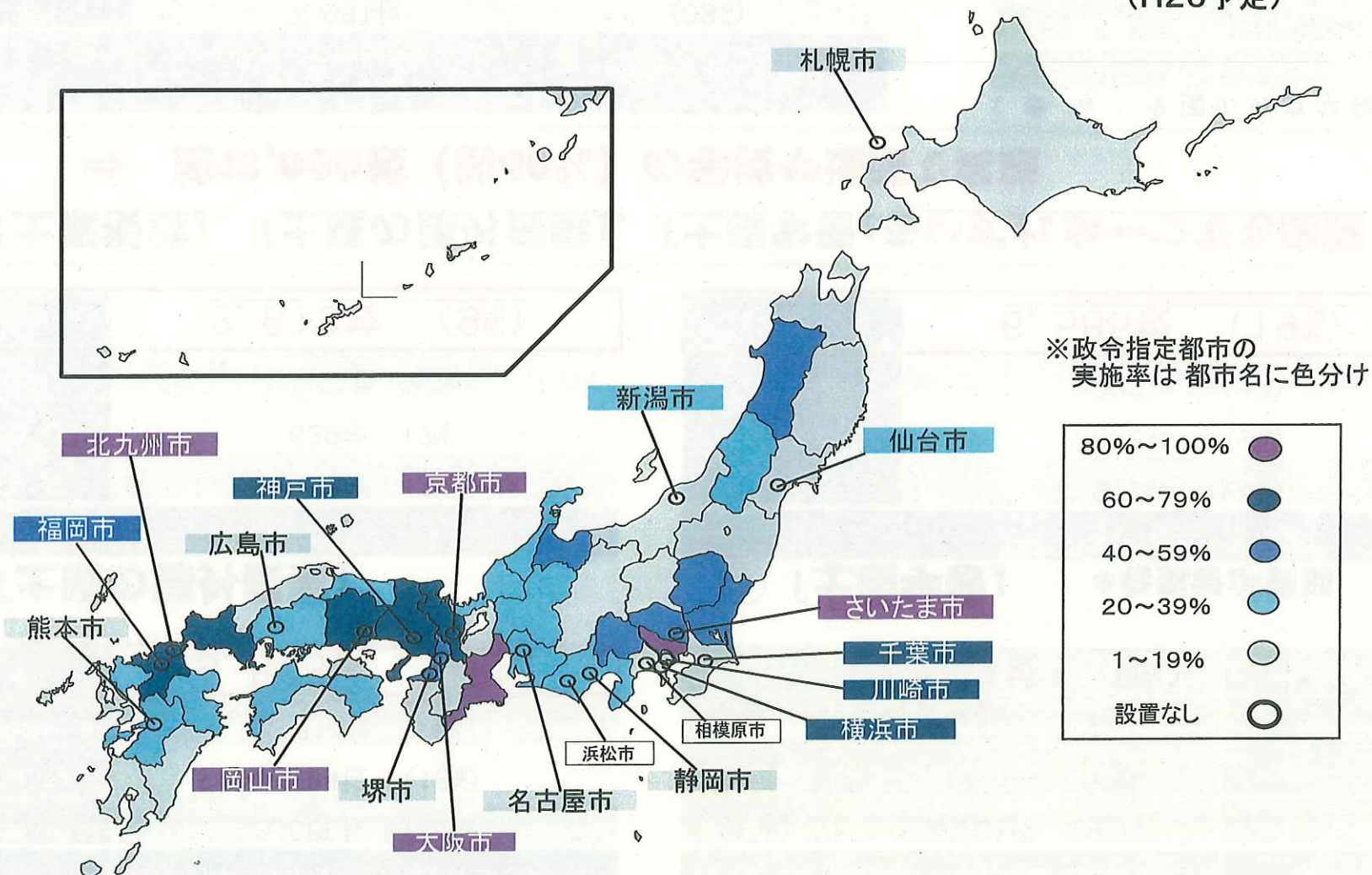
	平成26年度 いずれか一つでも実施予定	(実施予定の割合)
小 学 校	7, 981校	(38%)
中 学 校	2, 677校	(27%)
高等学校	2, 072校	(57%)
計	12, 730校	(37%)

(参 考 : 全国の公立学校数)

	公立学校数
小 学 校	20, 836校
中 学 校	9, 784校
高等学校	3, 646校
計	34, 266校

土曜日の教育活動の実施状況（全国の公立小・中・高校）

（H26予定）



「土曜授業」、「土曜の課外授業」、「土曜学習」 いずれか一つでも実施 ➡ **約13,000校（約40%）**

土曜日の教育活動に取り組む自治体が増えています。子供たちの豊かな教育環境の実現に向けて、積極的な取組をお願いいたします。

地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業

(平成26年度予算額 1,333百万円)
平成27年度予定額 1,458百万円

全ての子供たちの土曜日の教育活動を充実するため、地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の協力を得て、土曜日に体系的・継続的な教育プログラムを企画・実施する学校・市町村等の取組を支援することにより、教育支援に取り組む体制を構築し、地域の活性化を図る
(4,850か所 → 12,000か所)(小学校・中学校・高校など)

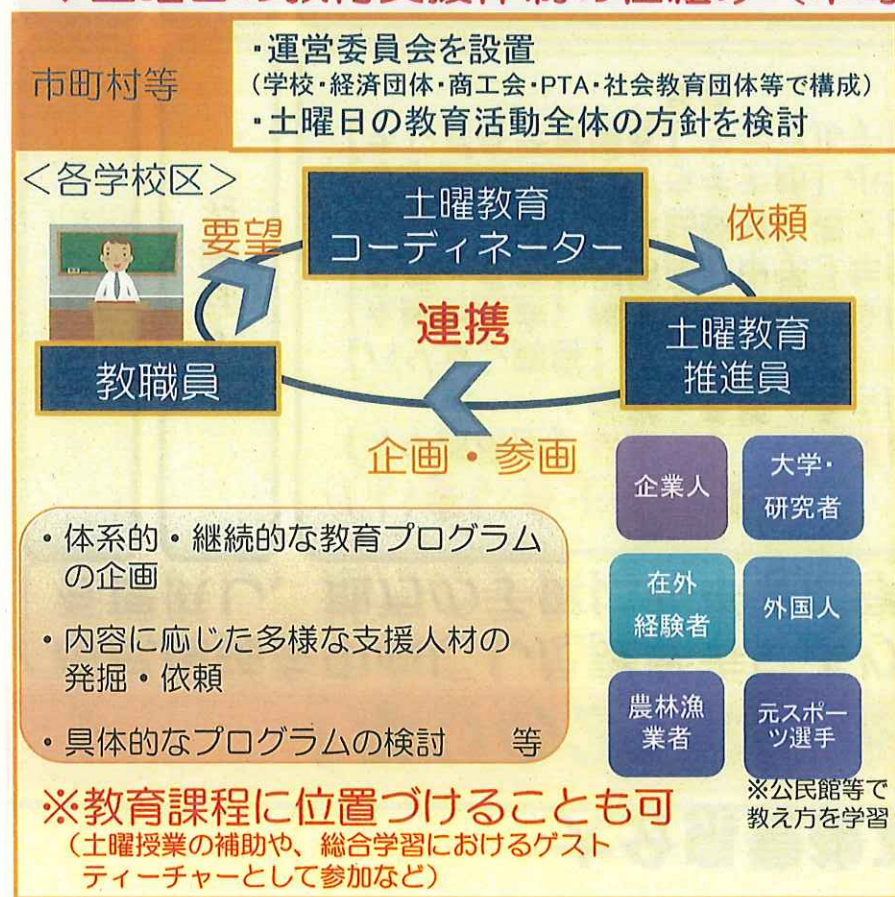
※平成26年度土曜日の教育活動を実施している学校数: 約12,000か所(約4割)

【補助率】

国	1/3
都道府県	1/3
市町村	1/3

◆地域の多様な経験や技能を持つ人材をコーディネートし、土曜日ならではの生きたプログラムを実現！

◆土曜日の教育支援体制の仕組み（市町村等向けの支援）◆



社会を生き抜く力を培う 土曜日ならではのプログラムの実践

～実践例～

★算数・数学
エンジニアによる
使える算数・数学講座

★理科:
研究者による科学実験教室

★外国語:
在外経験者による英会話

★総合学習
企業等との協働による
キャリア教育・商品開発等

★文化・芸術
文化・芸術活動団体による茶道・俳句など伝統文化の良さを理解してもらうための講座



＜教員とのTTによる数学＞



すべての子供たちの土曜日の教育支援体制等の構築

大分県豊後高田市の取組事例

「学びの21世紀塾」～「学びの姿」の構築を図る～

（市民講師を中心にした講座等により、確かな学力の定着や体づくりの機会）
を提供し、地方の子供にも平等に学習を保障して格差をなくす

約9割の
子供が参加

知

確かな学力

①いきいき土曜日事業

【寺子屋講座】第1・3・5土曜日に、幼・小・中の英会話・国語・算数・数学・英語・そろばん・合唱等

【パソコン講座】第1・3・5土曜日に、小学生対象のパソコン実習講座

【水曜日講座】毎週水曜日放課後に、全中学校1・2年生に数学・英語

【夏季・冬季特別講座】中学3年生に英語・数学・国語（7日間）

【幼稚園文字・英会話教室】週2日、幼稚園への出前授業

【寺子屋昭和館・プラチナ館】小学校4～6年生に放課後補充学習

【テレビ寺子屋講座】ケーブルテレビを活用した小・中学生対象番組の放映



徳

豊かな心

②わくわく体験活動事業

【週末子供育成活動】第2・4土曜日に、日頃できないようなものづくりや体験活動

【ステップアップスクール】3泊4日の集団生活・自主活動等の宿泊体験



体

健やかな体

③のびのび放課後活動事業

【スポーツ少年団等の活動推進】各種大会・活動の支援や後援

【文化活動団体等の活動推進】発表会・展示会等の支援や後援

（大分県豊後高田市作成資料参考）

県内学力テストワースト2位 ⇒ 8年連続1位
野球やバレーボールの全国大会出場

放課後子供教室を活用した土曜日の多様なプログラムの事例

大和高田市土曜塾（奈良県大和高田市） ※国庫補助

取組の概要

- 公民館を中心に土・日曜日の子供の居場所づくりを実施。
- その中で、学習支援、自然体験、伝統文化、地域の行事への参加等、多様な取組を実施。
- 参加する子供が市内全域に広がり、保護者同士の交流する場も増加。
- 地域の祭りに参加することで、積極的に地域の活性化に貢献。



漢字検定対策



陶芸教室



桜華殿前絵画教室



いちご狩り



もちつき大会



高田おかげ祭り

特徴

- ★校区を越えた子供・親・地域の人々と関わりにより、様々な価値観に触れ、子供の学習に対する意欲が上昇。
- ★野外活動での自然体験が、親子のコミュニケーションをより活発にし、子供の体験活動の幅が拡大。
- ★祭りや餅つき等の行事を通じて、市民としての共通意識が高まり、達成感と共に協働の必要性を認識。
- ★伝統文化に親しみ、小・中学生が主役になる場面を設定し、コミュニティ活性化の中心へと変化。

事業を実施して

- (子供の声)「家でできないこと、小学校ではできない体験がたくさん体験できた。土曜塾は楽しいよ。」
- (保護者の声)「大和高田市のいろいろな学校の子供と触れ合うことができ、『また、土曜塾で会おうね!』と心待ちにしている。土曜塾での体験は素晴らしいもので、親子のコミュニケーションが活発になった。」

子供たちが主体となる土曜学習の取組事例

(滋賀県湖南市)

「地域の人へ学校へ 生徒は地域へ」をキャッチフレーズに地域コーディネーターを中心に活動

ポイント

中学生が主体的に活動し、子供たちと地域が連携した土曜日の教育活動

事例1 「サマースクール」

- 日枝中学校の生徒が、校区内の小学生に夏休みの宿題を支援する取組。
地元小学生の保護者からの相談から実現。
- 地域ボランティア、地元高校生も活動に参加してサポートしている。
- 「ウインタースクール」の実施についても予定している。



事例2 「美文字教室」

- 日枝中学校の生徒が、校区内の小学生に書き初めを指導する取組。
- 地域の文字の達人や保護者も活動に参加している。
- 地元高校の書道部と日枝中学校のブラスバンド部で書道パフォーマンスを披露。



取組の効果

- 中学生は、自分にも出来ることが沢山あり、十分に人の役に立てることを実感する機会となり、**自己肯定感を高めることができる取組**になっている。
- 小学生は、**自分も将来指導者になろう**と思い、**努力するきっかけ**となっている。

博物館を活用した土曜学習の事例～子ども科学・ものづくり教室～（熊本市）

取組の概要

- ◆歴史民俗博物館を活用して、研究員や学芸員等の参画を得て、土曜日に科学・ものづくり教室を実施（年間約30回）
- ◆対象：市内の希望する小中学生（親子参加も可）

プログラム例

～科学実験や科学工作などの体験を通して、楽しく活動しながら

自然科学の原理や技術などを学ぶ機会を提供する～

◆宙返りバードを作って飛ばそう

薄くスライスした断熱材で鳥型飛行機を作り、一回転宙返りして飛ぶように翼の傾きを工夫



◆アンモナイトのレプリカを作ろう

アンモナイトの型枠に石膏を流し込み、レプリカを制作（墨での色づけも含む）



◆水中UFOキャッチャーを作ろう

浮力を調節して魚（浮沈子：調味料入れで代替）を活用したリング拾い

◆紙パックカメラをつくろう

工作用紙と凸レンズを組み合わせた簡単なカメラを作り、感光紙を使った撮影体験を実施

熊本博物館での土曜学習

参加：小学校1年生から中学生
講師：博物館研究員



紙パックや凸レンズ等を
組み合わせカメラを作成



ピントを合わせて撮影位置を決定
（学芸員がサポート）



わくわくどきどきの現像

成果

- ・研究員等の指導により、ものづくりの面白さを体験
- ・単発に終わらずに、継続して多様なプログラムから自然科学を学ぶ機会に。
- ・親子参加を通じて、家庭での学習やコミュニケーションのきっかけに。

高等学校の取組事例 「地域人材を活用した土曜教育推進事業」(愛媛県)

県全体の取組の概要

- ◆生涯学習課と高校教育課が連携し、県内6校の県立高等学校で実施
- ◆県において、コーディネーター、土曜教育推進員、教員、ボランティア等が会する研修を年3回実施。
- ◆各学校の特色を生かし、特色に応じた外部人材の協力を得て土曜学習を展開

松山南高校砥部分校の実践

～デザイン科の特性を生かした土曜学習の新しい展開～

- ◆コーディネーター：
県立産業技術研究所窯業技術センター嘱託研究員
- ◆土曜教育推進員：
グラフィックデザイナー、地域砥部焼作家、地域茶道講師

◆主な内容：

①問題解決のためのデザイン

「デザイン＝問題解決のソフト」と捉え、
デザインを通じて地域の課題解決・活性化につなげる。

～砥部町を全国にPRするためには何ができるか～

＜ワークショップ型での土曜学習の実践＞

- ・町の好きなところ・嫌いなところを10個ずつ考えプレゼン
- ・砥部町内を取材し材料集め
- ・PRのためのアイデアを形に（今後実施予定）

②陶芸作品の制作

龍泉窯代表を講師に、照明器具のデザインの制作・コンテストへの出品

③伝統文化に触れる茶道教室

茶道の平手前を学ぶとともに、掛け軸、花入れ、茶碗などの伝統工芸品に
直接触れ、味わいを楽しむ。

成果

- ・外部講師の参画により希薄だった高校と地域の繋がりが生まれた
- ・土曜学習を通じて、県内唯一のデザイン科の学校として、専門的なものづくりに関わりたいと考えるようになった。
- ・もっと継続して学びたいという要望が強く、現状の土曜学習だけでは時間数が足りず、こうした時間を充実したい



宇和島水産高校の実践

～水産業や環境保全の知識・技術の向上を通じて
地域貢献に取り組む～

- ◆コーディネーター： 地元真珠養殖業者・元同校PTA会長
- ◆土曜教育推進員： 地元の農家、地元養殖業者、
料理研究家、缶詰博士等
- ◆主な内容：
 - ・食育や環境教育、魚食教育
 - ・地元食材を使用した缶詰の開発・販売
(ラベルも生徒が制作予定)を通じた水産加工技術の習得・向上・地域貢献

松山商業高校の実践

～難易度の高い国家資格取得を目指し、
地域産業を担うビジネスのスペシャリストを育てる～

- ◆コーディネーター： 電子ビジネス専門学校 校長
- ◆土曜教育推進員： 大学講師、専門学校講師、
元NHKアナウンサー等
- ◆主な内容：
 - ・専門的知識を有する指導者による、簿記や語学検定、
情報技術、IT等の資格試験等に向けた学習

多数の地元企業等の協力で市内全中学校の生徒が参加した土曜授業の事例 『高知県香美市キャリアチャレンジデイ』

■キャリアチャレンジデイとは

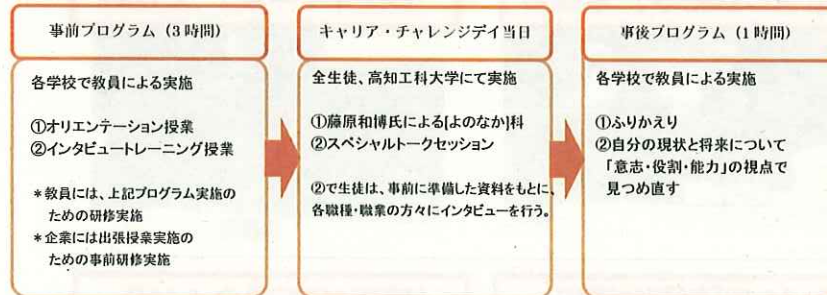
1 香美市キャリアチャレンジデイ目的・ねらい

香美市では、平成25年度より高知県教育委員会の「キャリア教育推進地域事業」の3年間指定を受け、市内の全小中学校が香美市の豊かな教育資源(人・自然・伝統・産業・保育所から大学まである環境など)をいかしながら「キャリア教育」に取り組んでいます。

その一環として、香美市内の全中学生を対象にキャリアチャレンジデイを行います。これは、従来の職業講話や職業体験活動を見直し、職業観・勤労観を育むことを目的とした体系的なキャリア教育プログラムです。家庭、学校、地域の人々の支援協力のもと、香美市内外約30の個人・団体等の様々な業種、職種の方と交流したり体験活動をしたりすることで、「職業の役割とそれに必要な能力との関係」について考えるとともに、出会った人々の生き方や考え方に触れる機会とすることをねらっています。

2 香美市キャリアチャレンジデイ実施概要

- (1)主催:香美市教育委員会
- (2)日時:平成26年11月1日(土)
- (3)対象:香美市内 全中学校・全学年(554名)
- (4)場所:高知工科大学
- (5)内容:①藤原和博氏による「よのなか」科一斉授業
②スペシャルトークセッション 地元企業・団体 31社



3 当日タイムスケジュール

プログラム内容:① 31種類の職業人によるスペシャルトークセッション
トークセッションは、各職種ブースで3回ずつ実施。生徒は興味のある3職種をあらかじめ選び、各職種ブースでトークセッションに参加(1ブース30名程度)
② 藤原和博氏による「よのなか」科スペシャル授業

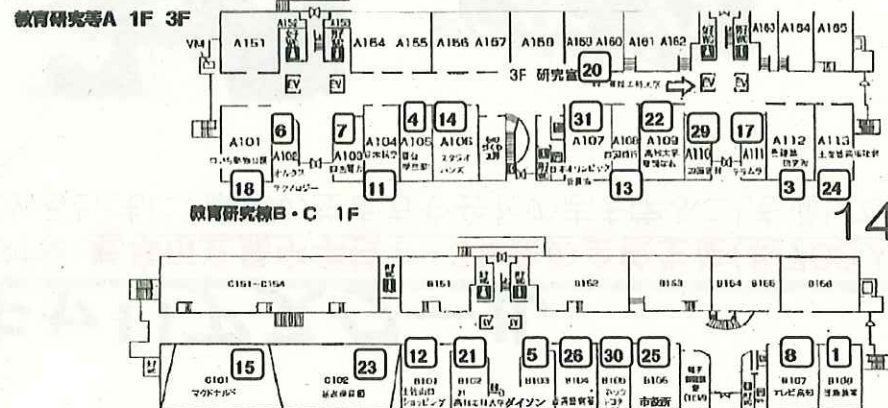
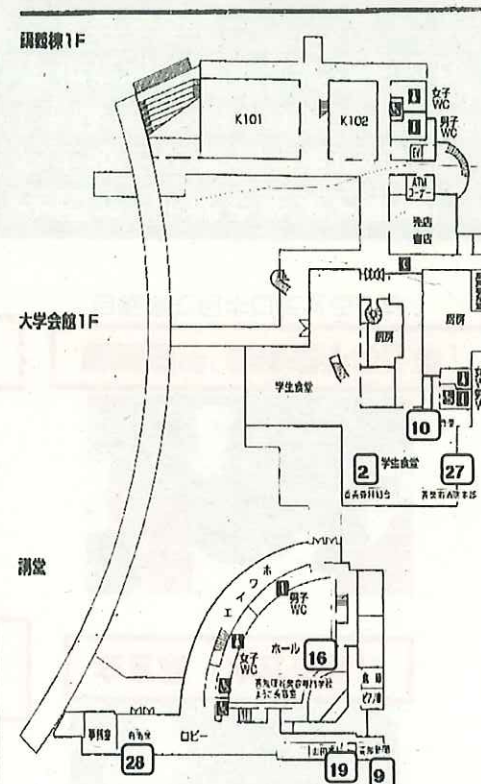
	時間	内容
1	～8:30	各学校到着
2	9:00～9:20	開会式
3	9:20～11:00	藤原和博氏による「よのなか」科スペシャル一斉授業(100分)
4	11:20～12:05	各ブースでのスペシャルトークセッション第1回(45分)
5	12:05～13:00	昼食、休憩、移動
6	13:00～13:45	各ブースでのスペシャルトークセッション第2回(45分)
7	14:00～14:45	各ブースでのスペシャルトークセッション第3回(45分)
8	15:00～15:30	閉会式
9	15:30～	終了 ブース片付け

■キャリアチャレンジデイ

参加企業一覧 および 配置図

1	農家
2	香美森林組合
3	聖建築研究所
4	宮公学生服株式会社
5	ダイソン株式会社
6	株式会社オルタステクノロジー
7	四国電力株式会社
8	株式会社テレビ高知
9	高知新聞
10	佐川急便株式会社
11	日本航空
12	株式会社土佐山田ショッピングセンター
13	四国銀行
14	スタジオハンズ
15	マクドナルド
16	高知理容美容専門学校・ようこ美容室
17	株式会社テラムラ
18	高知県立のいち動物公園
19	高知県立山田高校
20	公立大学法人高知工科大学
21	公立大学法人高知工科大学
22	高知大学医学部
23	新設保育園
24	社会福祉法人土佐香美福祉会
25	香美市役所
26	香美警察署
27	香美市消防本部
28	白幡高知地方協力本部
29	四国管財株式会社
30	ネットトヨタ南国
31	公益財団法人 日本オリンピック委員会

講義棟(K棟)1F・大学会館1F・講堂



～土曜授業に「土曜学習応援団」が参加した事例～

岐阜市立島中学校キャリアスクール

- 日時：平成26年11月8日(土) 総合的な学習の時間
- 対象：岐阜市立島中学校1～3年生の全校生徒(約700人)
- 趣旨：地域・社会の教育力を生かし、様々な職業の理解を深めるとともに、講師の生き方や会社の志を学ぶことを通して、自分の将来を考え、主体的に自分の生き方を見つめる。

土曜学習応援団も参加しました



パナソニック
「ものづくり企業の役割」



岐阜信用金庫
「お金の運用」について



押し花インストラクター
「押し花はかき作り」



左官業「左官体験」



消防士「価値ある無駄」



自衛官「自衛官の仕事」



中日新聞社「新聞記者の仕事」



競輪選手「競輪選手の仕事」

自転車で何キロだせるかな？

～プログラム一覧～

職業	講座名
元警察官	正しい勇氣
左官業	左官
押し花インストラクター	押し花はかき作り
株式会社 プロスパー	プラスチック製品のものづくり
フィットネスアドバイザー	ダンス HIP HOP
競輪選手	競輪選手の仕事
消防士	価値ある無駄
山川醸造	醤油を主役にした
自衛官	防衛省 自衛隊
岐阜信用金庫	「お金の運用」について
金融広報アドバイザー	大人になってから困らないお金の基本
Panasonic	ものづくり企業の役割と企業の「役割」
岐阜地方検察庁検事	検察官の仕事と裁判員制度
税理士	税理士はどんな職業か？
岐阜新聞広報センター長	記者の仕事
弁護士	体験！刑事裁判！！
新聞関係 (中日新聞岐阜支社)	新聞記者の仕事
歯科医	歯科医の仕事

18教室で多彩
な職業の講師が
出前授業を実施

全国で、地域や企業と連携した土曜日の教育活動が展開。「土曜ならではの」プログラムで、子供たちの豊かな学びを応援しませんか？

※パナソニックは体制の変更があり、現在、東京か大阪の周辺で出前授業を実施。

～土曜学習に「土曜学習応援団」が参加した事例～

土曜学習フェスタ in すまいるスクール日野学園

主催：品川区、品川区教育委員会、文部科学省、文化庁

日時：平成26年4月26日(土) 9:30～11:45

場所：東京都の品川区立小中一貫校日野学園

趣旨：実社会で活躍する現役の社会人の方々による体験型の土曜学習を
小学生を対象に実施し、土曜学習を本格的に全国展開する第一歩とする。

ハイブリッドカー
工作中

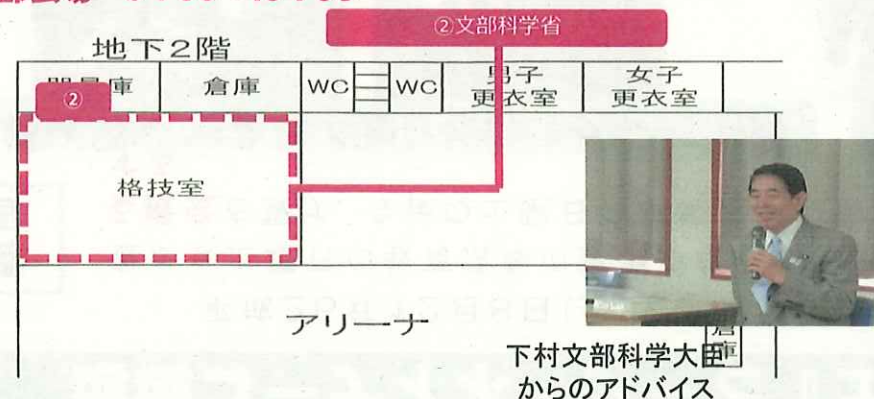


土曜学習フェスタ in すまいるスクール日野学園 会場案内図

第1部会場 9:30～10:30



第1部会場 9:30～10:30



第2部会場 10:45～11:45



全国で、地域や企業と連携した土曜日の教育活動が展開されています。
「土曜ならではの」のプログラムで子供たちの豊かな学びを応援しませんか？

～全国の地域コーディネーター等と土曜学習応援団」が一堂に会する研修を実施した事例～

地域コーディネーターと『土曜学習応援団』意見交換会

趣旨

平成26年12月8日(月) 文部科学省講堂にて
豊かな土曜日の教育活動の実現のため、地域コーディネーター等と「土曜学習応援団」が一堂に会する機会を設け、今後の土曜日の取組方策の検討や、学校・教育委員会と企業等のマッチング等の場とする。

1. 地域・学校・行政・企業関係者によるグループ討議



地域コーディネーター等約300名、企業・団体関係者約50名が参加し「土曜日を活用した新しい教育のかたち」について、立場を越えて話し合いました。

2. 企業ブースにおける各社の出前授業の紹介



ダスキン
「おそうじについて学ぼう!」「学びゲット!」

凸版印刷

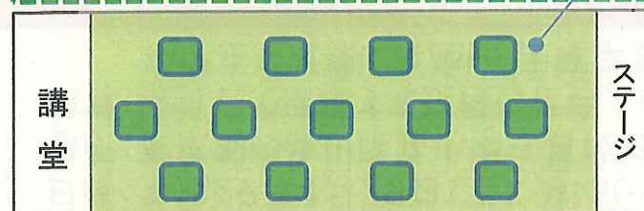
日本数学検定協会
「算数体感プログラム」

野村グループ
「投資って何?他」

－会場図(イメージ)－

講堂内 <1. グループ討議>

企業・団体と地域コーディネーター、自治体職員5人程度でグループ討議



ホワイエ(ロビー) <2. 企業ブースごとの事例紹介>

- ①大日本住友製薬 ②ダスキン ③凸版印刷
- ④公益財団法人日本数学検定協会
- ⑤日本取引所グループ ⑥日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
- ⑦野村グループ ⑧バンダイ



各自治体等においても、地域コーディネーター・学校・行政・企業・団体・大学等の関係者が一堂に会する研修等を実施している場合があります。

日本ゴルフ場経営者協会及び会員の皆様に お願いしたい学習活動の例

＜学校や公民館で実施するもの＞

- プロゴルファーやゴルフ場経営者の方による講演
 - ＊プロとしての心構え・厳しい練習
 - ＊魅力あるゴルフ場づくり

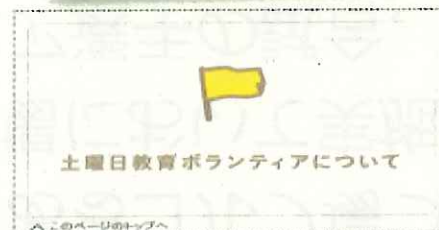
＜ゴルフ場において実施するもの＞

- ジュニア選手の試合、練習への協力
- ゴルフ場見学、親子教室の開催
- スナッグゴルフ教室などの初心者向けの取組
- 環境教室（環境に配慮したゴルフ場作りなど）

＊すでに行っている出前授業等の登録でも構いません。

小学生は体験活動中心，中高校生は発表重視などの工夫も

＊親子で参加できる取組も可能です。



お問い合わせ プライバシーポリシー リンク・著作権について

<本件問い合わせ先>

文部科学省生涯学習政策局 社会教育課 地域・学校支援推進室
 室長：鍋島、室長補佐：佐藤、係長：入江
 直通 03-6734-3080 FAX 03-6734-3718
 Email: doyo@mext.go.jp